第162号
発行所
新潟県中魚沼郡
中里村公民館
毎月1回15日
定価 1部 5円

なかさと

私たちの村

人口	7,908
男	3,912
女	3,989
世帯数	1,732

1月1日現在

謹賀新年

年頭にあたり 村長就任の辞

中里村長 藤田五郎

戊年の新年を迎え皆様に新年の祝辞を申し上げますと共に、村長就任の御挨拶を申し上げることは、私の光栄とするところでございます。

不肖の私ではありますが、今後は村長として村民の皆様共々苦楽をともにし、和合の精神を以って、村発展を目指し村政を担当する決意でございますのでよろしくお願い申し上げます。

昨年は四年に因みましたかのようにアポロが相次いで月面に到達人類の足跡を残したことは歴史の一頁を飾る大偉業でございました。

本年は戊年に天みまして、四ツ足を大地にシッカリ踏みつけた犬のように、堅実に然も活発に、村民の皆様と相携えて中里村の前進に努めたいと思います。

日本は現在一つの時代の転換期にさしかかって居り変革の時代に入ろうとして居ります。即ち大学問題、食管制度、中国との国交正常化、沖縄返還、安保条約の再検討など国民的課題として難問が投げかけられています。これらの課題の解決方法や内容は日本の今後の歴史のコースを左右し戦後の日本というものの、総決算となるべき性質のものと考えます。

さて純農村である当村と、しては食管制度に関連する生産者米価の検討と値下げ、米作転換等々農政に関しては、多くの深刻なる問題を蔵しています。

又離農問題、後継者対策や過疎対策など多くの難かしい問題を抱えており、多角的農業経営につき重点的に研究対処せねばなりません。一方農政審議会も県農地部も深刻なる態度を打ち出して居り、今後の農政は減に厳しいものが予想されます。幸にして昨年末の十二月県会に於ける知事の発言内容中、本県は生産性高い稲作を中心として国の食糧生産基地として発展することが合理的であると力説している点注目すべきであります

香が中里村は苗場山麓総合開発清津川右岸段丘地パイロット事業、第二次構造改善、道路行政観光、教育、医療、産業、治山治水、出稼、福祉施設等々多くの問題を抱え如何にして村民各位の希望を政治に反映せしむるかが、重要課題であります。今後共に話し合いの出来る所謂民主主義政治の中に於て公平で明るい清潔な豊かな村づくりに邁進する信念を堅持して居ります。

カーライル曰く「その国は吾を有するすべての国民によって支配せられる、そこに真の民主主義は存す」と。

何卒よろしく御支援と御協力をお願い致しまして皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げ、中頃にあたり新年の祝辞と村長就任の御挨拶と致します。

村民娯楽大会

1月25日 中里村公民館で

来る1月25日(日)中里村恒例の新春村民娯楽大会を左記のとおり行ないます。どなたもふるって参加して下さい。

①日時 1月25日 午前九時三十分より
②場所 中里村公民館
③種目 囲碁、将棋、麻雀各種目別に、一位より三位まで賞状を呈上します。
④その他

年賀状のあとしまつ

①年賀状の交換を機会に、住所録をつくりましょう。
②郵便番号は、住所の一部とお考えいただき、住所録にも必ず書き加えましょう。受取った年賀状の差出人の郵便番号を控えておくと便利です。

老人尊重の藤田村政

十日町新聞社編集長 村山武

昭和三十六年十一月十五日。この日は私が、過去八年間住みなれた中里村役場を退職して、言論界にとびこんだ日である。それから更に九年の才月が流れた。私はいま三十五度目の正月を迎えた。

昭和四十四年十一月二十五日この日は中里村長選挙で、新村長が誕生した日である。それも村の歴史はじまって以来、かってない激戦の末、新村長を選んだのであるから、村民にとっては記念すべき日である。

私はいま、十日町市民として税金をおさめているが、その意味では、中里村民ではない。しかし税金は納めなくとも、私は今も将来も中里村民である。私の心は中里村にあり、私の故郷は中里村である。従って私は村民の一員である。

藤田新村長は、その就任の第一声で「人間尊重の政治」をスローガンとして高く掲げた。人間尊重の政治とは、一口に言えば、老人や幼児や、母子家庭や生活保護家庭など、弱い立場にあるものを守る政治である。社会的に陽のあたらない立場にあるものを保護する社会福祉政策が、人間尊重政治の根幹である。

これまで政治力の不足から、他町村とくらべて遅れをとっていた道路や河川など公共事業の遅れをとりもどし、社会開発を急ピッチに行なうことは当然なことながら、これと併行して、社会福祉行政に重点をおくことを強くうち出した藤田村長は、政治の要諦を深くわきまえた政治家だと言っても過言ではあるまい。どだい政治とは、人間の生命を大切にし、人間の幸福な生活を築きあげることが主眼である。高度経済成長が行なわれ、世界で二位の生産力をほこっても、公害や交通事故で人命が危険にさらされていては、これはいい政治とは言えない。

一家の経済でも同じことである。立派な家に住み、長男はカローラを乗りまわし、妻は毎週のようにおめかししそして遊びまわり、豊かな生活をしていても老人にはロクに食事も与えず、患っても医者にもみせず、意地悪ばうばいをつくして憎み殺すようなことでは、幸福で道義的な家庭とは言えない。

藤田村長は、こうした不幸に近く老人たちが一人でもいないように、まず何よりも老人医療費の村費負担を実施しようという。老人尊重の政治は、人間尊重政治の第一歩である。精神的にも高尚な理想である。

巨知事も、老人福祉行政に力を注ぐ方針をうち出している。同知事は、昨年暮の地方新聞との記者会見で、四十五年度予算には老人医療費を県費負担に計上したい旨言明した。

村は十日町市長は、昨年度から老人の医療費の一部負担を含め老人に対する見舞金制度を条例化した。今から四年前に私はこの老人医療の公費負担を新聞紙上に主張し、機会あるごとに市町村当局に対して啓蒙し実施をせまってきた。今ようやく時代の要請から、県や市町村の首脳の間で、具体化する運びになったことは誠に喜ばしい限りである。

最後に一言。昨秋の村長選挙の際、私は極めて不愉快な言論抑圧の謀略に見舞われた。苦しく名誉も傷つけられた。生涯忘れ得ぬ不名誉を受けた。このまたと今後もこの種の卑劣きわまる言論干渉を内外から受けることを覚悟しなければならないだろう。これら言論を糧とするものの避けることのできないものと耐え忍んでゆかねばなるまい。願わくば読者からもっと新聞の本質的な使命をよく理解し組織していただきたいものである。

今はただ、村民が神聖な手続きで選んだ新村長の下、結果して新しい村造りにいそしんでもらいたいと祈るだけである。

駐在所だより

飲酒運転の防止
あなたのため、家族のため

新年になると毎年、飲酒運転による交通事故が多く発生するようになります。年始まわり、新年会と酒を飲む機会も多くなりますが、あなたのため、家族のために酒ノ車は絶体に切りはなさなければなりません。

スリップ事故防止

◎冬場のスリップ事故の多くは、路肩がせまい直線道路で、対向車が来たのにスピードをおとさず、接近してから急ブレーキをかけるためにおこる、横すべりによる衝突。

◎スリップ事故の注意

すべり止め装置を積んだからといって、安心してはいけません。一番けないよりまし」程度です。

①前の車との車間距離をふだんの二倍とる。
②スピードをふだんの十～二十キロぐらいに減速する。

人生往来

◎産声

子の名	父の名	部落名
樋口秀昭	茂雄	道ノ山
広田哲也	正治	竜達山
渡辺憲喜	貞良	〃
竹藤哲也	安三	宇川

◎霜 消

新郎	小巻沢鶴三(三七)	道ノ山	
新婦	岡本文子(二六)	十日町	
新郎	山本藤一郎(六七)	桂	
新婦	小野塚キヌ子(二七)	建設部	
新郎	中沢	護(三七)	十日町
新婦	山本マツノ(二七)	上山	
新郎	大島	貞信(三六)	埼玉県
新婦	樋口	シゲ(二八)	道ノ山
新郎	服部	繁昭(三七)	荒屋
新婦	大島ミツ子(二七)	津端町	
新郎	佐藤	保(二七)	十日町
新婦	斎藤テルエ(四四)	倉俣	
新郎	森田	義徳(三〇)	建設部
新婦	藤田ヒデ子(二二)	清田山	
新郎	冨井	弘明(三八)	市之越
新婦	服部ノリ子(二五)	如来寺	
新郎	渡部	一郎(三七)	土倉
新婦	大瀬	勝子(二六)	〃
新郎	佐藤	成行(三二)	十日町
新婦	広田ハル子(三四)	山崎	

◎弔 死

氏名	年令	部落名
渡辺彦太郎	(七七)	高道山
中島キヨ	(八七)	本屋敷
南雲豊蔵	(八〇)	堀之内
潮雲タキ	(八七)	東田尻
上原ヨシ	(八二)	上山
樋口亮策	(七七)	西田尻

新春中里文芸

一月投句

村山悦夫選

織初や明朗らかに筬の音
空も櫛も茜に染めて今朝の春 時習

初鶏や世界平和の歌い初め 海人

晴嵐の酔い雪の歩道に優しげり 柴山

色の鳴を遠慮しながらかるた取る 大泉

出稼の父帰って大き注連飾る 露丘

寒活れて暖をひろげる空の色
早や三日湯浴の音は妻娘らし 涼子

寒菜が支え一つの音遠のく
雪山が背 汽笛が逃げきれぬ 由記

雪国の三ヵ日晴れ佳き年ぞ
干物もゆれて佳き年明け初めぬ 土牛

初日抱き銀河宇宙の輪廻の刻
にぎわいし三日過ぐれば遠鉄の
村 悦夫

萬さす霜柱久遠に咲つつむ
餅搗に餅送られ来母の名で

(三面より続き)

んにとりくみたい。村も青少年たちのたまり場であり、教育センターでもあるような場をぜひ与えてもらいたい。

上村 農村の青年たちにもたのしみが必要だ。たまには都会に出て日頃の苦労をわすれ、若さをたのしむことができるようにならなければ。それから学校教育についても学校長、村当局農協、公民館などといっしょになって、村の発展の方向などを話しあい、とりくんでもらいたい。

福祉の増進、へき地医療の確保

司会 村民生活の身近な問題として、福祉の面についてご意見をどうぞ。

村長 社会の進歩とともに、福祉行政もいろいろの面で進んでいるが、しかし、医療対策の面ではまだ充分とはいえない。とくにへき地医療体制については国県でも力を入れようとしているが、県では、へき地に看護士制度を計画しているので、中里村としても是非配置したいと思っている。環境衛生の面では広域行政でゴミ処理施設を関係町村といっしょになってつくりたいと思っている。

上村 福祉の充実は一番大切だ。これは、国の施策とともに中里村としても大いに力を入れてもらいたい。

司会 出稼ぎや出パタの問題幼児保育の問題、老人福祉などまだたくさんな課題もありますが、紙面の都合もありますのでいずれご意見をお願いします。どうもありがとうございました。

年頭にさいして

村議会議長 高橋熊蔵

明けましてお目出度うございます。謹んで村民各位に一九七〇年代の夜明け、昭和四十五年の新春をこころからお喜び申し上げます。

昨年は年間を通じて、わが中里村にては、さしての災害もなく、平穏の年でありました。しかるに一方選挙の当り年で、村農業委員の選挙を手始めに、村長の改選、衆院の解散総選挙と続き、村民お互もそれぞれ立場も異り、考え方も一体とならざることは当然であり、複雑を極めた年で暮れました。

迎えての一九七〇年こそ、国においても、安保沖縄問題を中心に、特に私共に直接関係の深い米の牛肉輸入の問題、そして大阪を会場とする万国博覧会の開催等、国をあげての大きな問題、そして事業が展開される意義ある年であります。

かくした国情下におけるわが中里村は、藤田新村長就任の第一年目、何かと引継ぎ事項、申し送り事項、そして新規構想と、多くあることと存じます。しかし四十五年度の当村財政事情は豊富のものでないことは推察されるのであります。

限られた財源を最高度に村のため有効にすることは、村民各位の和であり理解であると信じます。村の将来の興隆等についての、皆さんの考え方には若干異った点もあると存じますが村が豊かになること、そして発展することについては誰も異論あるはずはない訳です。

新年と共に、私共も更に心を新たに、職務に精進し、村民各位に奉仕致す所存であります。各位の一層の御協力を切に御願い申し上げます。そして一九七〇年代の第一年目である本年がわが中里村にとって、すばらしいよい年であるよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶と致します。

新年のご挨拶

教育委員長 関根隆光

村民の皆様、あけましておめでとうございます。毎年のことですが、新年を迎えると「今年こそは」という気持ちになります。去年の反省をし、今年こそはより有意義な一年を送らなければと肝に銘じております。

今年は一九七〇年代の出発点に当たると言えるでしょう。行先や経路をしっかり見つめて進まなければならないと思います。中里村の教育も村民一人一人の自覚のもとに、一人一人の努力によって、よりよく発展向上させなければならないと思います。村内の小中学校の校舎についてみても、八校のうち危険校舎の多くない学校は二校に過ぎません。村内小中学生の大部分は、危険校舎で勉強しているのです。これをいつまでもほおっておけないでしょう。なんとかしなければならないと思います。中学校の生徒数にしてみても、五年後には、現在の田沢中の生徒数が、村内全中学校の生徒数とほぼ同数になるだろうと予想されます。教科担任制の中学校においては、これらもいっくりと考えて行かなければならない問題と思います。

また中学校を卒業した、働く青少年の教養を習得する場について見ても、現在の公民館では不充分だと思います。特にスポーツ活動となると全くといっていいくらい使用出来ません。図書室にしても、およそ読書をするには不似合な図書室と思われます。中里村に留って働く青少年に、明るく伸びのびと教養活動の出来る場を与えることも、われわれ村民の責務と思います。その他にも、たくさんの問題があります。どの問題にしても簡単には解決出来そうにもありませんが、村民一体となってその解決に当るならば、自ら道は開けるものと確信しています。七〇年代の出発に当り、村民の皆様と共々に、中里村の教育の将来について熟慮したいものと思います。村民の皆様のご理解あるご協力とご指導をお願い申し上げまして、年頭のご挨拶にかえさせて戴きます。

源泉徴収票等法定資料の提出期限は1月31日

次の支払調書は、期限までにお忘れなくご提出願います。

また、市町村民税給与支払報告書も、一月三十一日となっておりますから、市町村長まで提出してください。

なお、ご不明の点がありましたら、役場の税務課にお問い合せください。

▽支払の内容
俸給、給料、賞与、年金の支払

▽提出する調書
給与所得の源泉徴収票市町村民税の給与支払報告書

▽支払の内容
退職手当、一時恩給の支払

▽提出する調書
退職所得の源泉徴収票（市町村民税の特別徴収票）

▽支払の内容
印税、司法書士、建築士等への報酬、料金の支払
外交員、集金人、広告、宣伝のための賞金、馬主への競馬の賞金の支払

▽提出する調書
報酬、料金、契約金及び賞金の支払調書

▽支払の内容
地代、家賃、権利金、更新料承諾料、名義書替料の支払

▽提出する調書
不動産の使用料等の支払調書

▽支払の内容
土地、家屋等の譲受けの代金の支払

▽提出する調書
不動産等の譲受けの対価の支払調書

【注】譲受けの代金には、土地の上にある資産の移転にともない生じた、各種の損失の補償金も含まれますからご注意ください。

剣道初げいこ

田沢小剣道少年団

去る一月三日、午前十時より田沢小学校体育館において五十名近くの少年剣士と十数名の青年剣士が、西野五段（田沢小学校長）の指導のもとに、四十五年はいこはじめがおこなわれた。五十名近くの少年剣士の中には、二十名近くの女の子もまじっており元気なかけ声で寒さも吹き飛ばし、練習にはげんでいました。

今年は、十日町から実業高校教諭、野本郁太郎先生外二人を招き、普段にもまして気はくのこもった練習ぶりに、会場のお父さん、お母さん方もすっかり感心した様子。二時間近くの練習のあと、お汁粉でなごやかな一とき を過し、今年も元気にがんばろうと励まし合っていた。

毎月十日は交通安全、二十日は防犯対策防犯の日

中里村交通安全対策協議会・中里村防犯組合推進の日

"村づくり"新春座談会

出席者

中里村長 藤田五郎
村議会議長 高橋熊蔵
村議会総文委員長 上村賢造
村教育振興副会長 西野政男
中里村農業協同組合長 上原国一
中里村公民館長 斎藤大露
司会 公民館主事 樋口和一

一九七〇年代は、人類の進歩と調和の時代といわれ、めざましい科学技術の進歩と経済成長の一方では、人間疎外とかヒズミの是正が論議されている。ともあれ、村民等しくのぞんでいることは、平和で豊かで住みよい村である。そこで公民館では七〇年代の村づくりのビジョンについて、村の政治、経済、教育、それぞれの立場で村の発展をになっている方々からご出席いただき、座談会を催し、忌憚のご意見をうかがった。

司会 まず村長さんからどうぞ。

村長 村づくりの実践像となると、なかなか大きな問題であるが、いまの社会情勢から考えられることは、七〇年代は、すべての面で高度な飛躍をとげる年代になるとおもう。純農村である中里村としては、農業型態の中において、村民がもっとくらしやすくなり、将来に希望もてるということだ。そこでどこからということになるとなんといっても道路交通条件の整備である。七〇年代には、十二線も開通し、国道昇格も実現するだろう。都市との連絡は容易になり、産業の導入も可能になる。地域の総合開発がすすむだろうが、しかし安易な気持ではいられない。農家がもっと豊かになるという点に焦点をしぼって地域開発にとりくみたい。交通の確保については、雪の問題がある。この対策をまず優先したい。道路が整備されればブルトーザーや雪上車など、機械力も駆使できるが同時に流雪溝や消雪パイプの施設も行ない、労せずして雪を消せるようにしたい。四十五年にはまずテストケースとして、村の玄関口である田沢駅通りに消雪パイプをとりつけたいとおもっている。結果がよければ逐次ほかの地区にも施設したい。

斎藤 七〇年代といわれるこの十年間は、国においても村においても、一つの形づくられる年代だとおもう。村においても十二線の開きく、学校統合問題などもその一つだ。食糧地区においては、ヘツリの道路改良があり、さらに対岸への架橋問題もぜひ七〇年代に実現してもらいたい。

西野 教育の成果は、十年後二十年後にようやく花が咲き、実をむすぶともいわれ、二十年先、三十年先の世の中がどんなに進展するか、そういう先のことまでも考えながらすすめていかねばならない。いま、時代の進展に伴なって、教育の現代化がさけばれているが、そのためには、教師が専門職として研修をつまねばならない。いままでのように子どもを教えていけばよいというわけにはいかなくなる。優秀な先生方をそろえ整った教育施設設備が必要だ。一時教育ママという言葉がはやったが、自分の子どもだけに神経質になるのでなく、教師と親はそれぞれの立場で未来に生きる子どもの教育を学校といっしょになって考えなければならない。最近は過疎化の問題もあるが、村の教育行政においても、将来を考え、教育施設の長期計画を明確にしてもらいたい。

上原 私は七〇年代、六〇年代と歩んできた、過程をふりかえって見てこれを政治とか経済にどう結びつけるかということだとおもう。農業を含め、産業の面においてもいろいろとヒズミがでているがこれをいかに是正し、発展させていくか方法を求めなければならない。中里村も、十日町と準南のまん中にある小さな村という感覚でなく、豊富な資源をかかえているのだから。これを生かしていくということが豊さをもたいということは大きな課題だ。せまい気持で農業がどうの商業がどうのという時代ではない。十日町、津南という広い地域の中で、中里村としてのあり方を村民自からの力にプラスする力を生かして考えなければならない。

飛躍する70年代について語り合う出席者

斎藤 七〇年代をむかえて、私自身としては、人間は物が先か、心が先かということが、脳裡からはなれない。もちろん心の豊さをもたいということは言を待たないが、村づくりの将来ということを考えると、社会教育の立場から、ぜひ公民館がほしい。私共はそこでこの七〇年代に生きる自分を反省してみたい。公民館建設については、前村長時代からの懸案で、将来のためにもぜひ必要だ。

司会 それぞれの立場からご意見がありましたが、道路交通問題も含めて産業振興についてもうすこしどうぞ。

まず道路交通条件の整備を

村長 県道については、倉俣のヘツリは隧道がよいか、スノーセットがよいか、よく検討してもらい、七〇年代にはぜひ実現に努力したい。富中橋については陳情の結果が、どうなるかまだわかないが、相当多額な予算をとりつけたい。産業の振興については。米価の問題もあるが、とにかく農家としては、パイロット事業はなるべく早期完成が必要だ。農業もいろ〳〵多角化してきているが、立地条件からして、都市周辺のようにはいかない。そこでおのずから、この土地の立地条件を生かし進めなければならない。

斎藤 米の問題については生産調整とかいろ〳〵論議されているが、問題の重要性をよく考えタテヨコの連絡をとりながら手落ちのないように対処しなければならない。中里村は農業村であり、農業の発展をなくして商工業の発展もむずかしい。村としても関係団体や、農協と密接に連絡をとりながら施策を進めてもらいたい。そして先ほどからのご意見のように村内の道路網を整備確保することこそ産業開発の重要な課題だ。

上村 産業の振興については生産コストを下げることと、流通機構の問題があるが、それとやっぱり交通条件だ。十二線が開通すれば、関東方面から安い品物が入ってくるので、商店の方は心配もあろうが、それを乗り切って経営を発展させるぐらいの考え方が、これからは必要だとおもう。

郷土発展のにない手後継者育成

司会 村づくりは人づくりからともいわれ、とくに今、青少年健全育成が課題となっているがご意見をどうぞ。

西野 青少年に生きがいをもたせることだ。バイクや自動車を買ってやるよりも、将来に希望をもたせたい。村が青少年を県内外に派遣して、研修や留学させ、広い視野と生きがいをもたせてもらいたい。

上原 後継者育成の問題は、魅力のある農業の政策の問題でもあるが、農協としてもしんけ

（四頁へ続く）